

常任・特別委員会（ホームページ掲載用）

訪問看護事業者実態調査委員会

1. 開催日時：平成30年2月27日（火） 15：00～16：30
2. 場所：鹿児島県看護協会
3. 出席者数：9名中9名 オブザーバー3名
4. 主な検討内容
 - 1) 第2回検討委員会を踏まえた集計結果について
 - ア 別冊「訪問看護実態調査結果報告」に基づき説明
 - イ 調査結果から言えること
 - ・訪問看護業務の負担感は超過勤務、訪問以外の業務量、一人で判断する責任が重い、外部の研修に参加できない等が管理者の方が訪問看護師より割合多い。
 - ・管理者の自由記述で、断った事例や困った事例などわかりやすくまとまっていた。
 - ・地域での研修が少ないと感じている人が多い。
 - ・給料が病院より低い。
 - ・オンコール手当が500円のステーションと4000円のところがある。
 - ・ターミナルの看取りの件数がすくない。
 - ・管理者研修受講や希望がないことから、その他の内容を詳細に洗いだす。
 - ウ 県への報告書の内容、まとめかたについて
 - ・県としては本日の報告書管理者編と訪問看護師編でもいい。
 - ・一部管理者と訪問看護師と比較した方がいいところは同じ表にするなどしてもいい。
 - ・それぞれ調査対象ごとの末尾にまとめとして課題等に気付いたことを考察する。
 - エ 今後のスケジュールについて
 - ・本日出された意見の他に気付いたことがあったら3月5日まで県協会あて連絡する。
 - ・報告書の提出は3月末までとなっている。
 - ・課題に対して事業提案は6月から始まり遅くても8月中旬までに県へ必要なことは要望したい。
 - ・研修については各団体で開催場所を含めて出来ることはないかを検討していく。
5. その他